

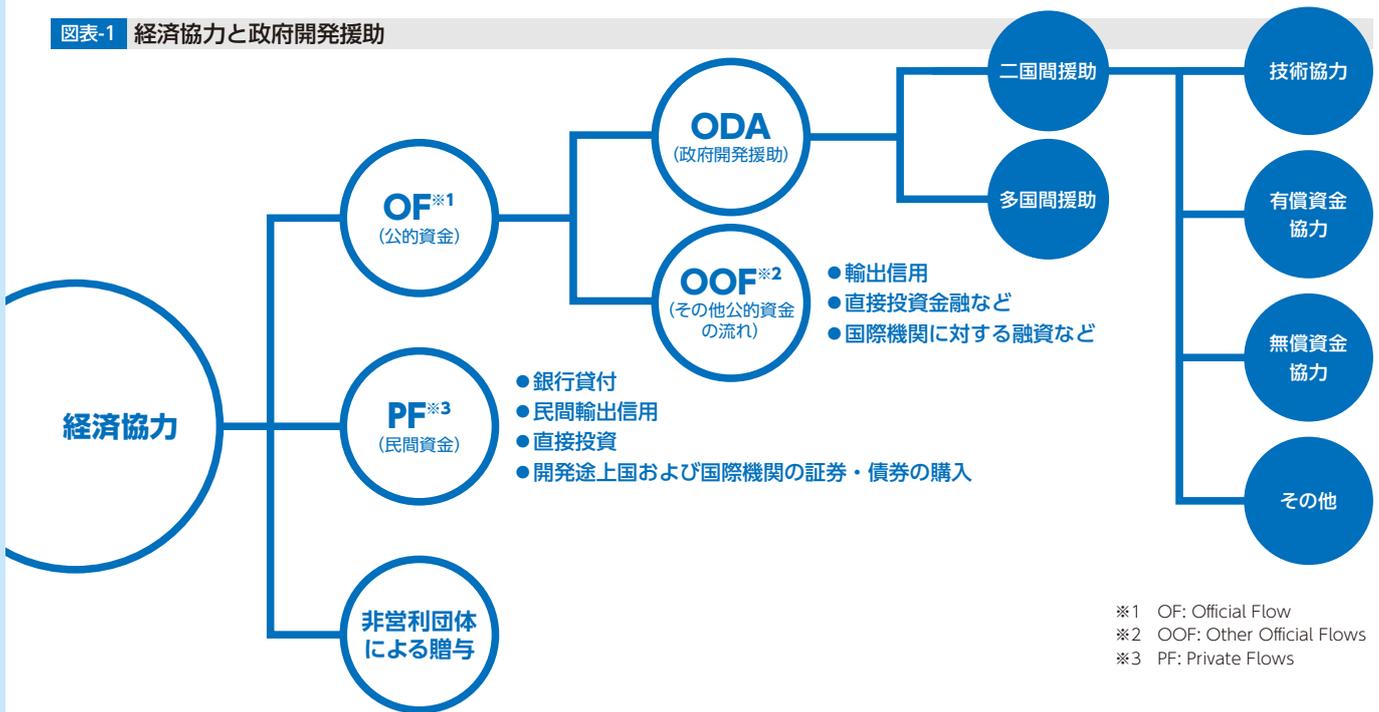
日本のODA



開発途上国の社会・経済の開発を支援するため、政府をはじめ、国際機関、NGO、民間企業などさまざまな組織や団体が経済協力を行っています。これらの経済協力のうち、政府が開発途上国に行う資金や技術の協力を政府開発援助(Official Development Assistance: ODA)といいます。

ODAは、その形態から、二国間援助と多国間援助(国際機関への出資・拠出)に分けられます。二国間援助は「技術協力」「無償資金協力」「有償資金協力」の3つの手法と、ボランティア派遣など「その他」の方法で実施されます。

図表-1 経済協力と政府開発援助



※1 OF: Official Flow
 ※2 OOF: Other Official Flows
 ※3 PF: Private Flows

図表-2 日本のODA実績 [2016年(暦年)、暫定値]

援助形態	援助実績 [2016年(暦年)]			ドル・ベース(百万ドル)			円ベース(億円)			構成比(%) ODA計 (純額ベース)
	実績	前年実績	対前年比(%)	実績	前年実績	対前年比(%)	実績	前年実績	対前年比(%)	
ODA 二国間 ODA	贈与 無償資金協力	2,828.59	2,626.83	7.7	3,077.59	3,178.52	-3.2	27.4		
	技術協力*	2,765.33	2,372.14	16.6	3,008.76	2,870.34	4.8	26.8		
	贈与計	5,593.93	4,998.96	11.9	6,086.34	6,048.86	0.6	54.1		
	政府貸付等	1,422.17	1,116.83	27.3	1,547.36	1,351.39	14.5	13.8		
	二国間ODA計(純額ベース)	7,016.09	6,115.80	14.7	7,633.70	7,400.26	3.2	67.9		
	国際機関向け拠出・出資等計(純額ベース)	3,315.33	3,055.38	8.5	3,607.16	3,697.09	-2.4	32.0		
	ODA計(支出純額)	10,331.42	9,171.18	12.7	11,240.86	11,097.34	1.3	100.0		
	名目GNI速報値(10億ドル、10億円)	5,099.73	4,553.33	12.0	554,864.50	550,963.30	0.7			
	対GNI比(%)	0.20	0.20		0.20	0.20				

(注) 1. 上記には卒業国向けの援助を含んでいます。卒業国向けの援助を除いた実績の詳細は、別冊資料編の表1を参照ください。
 2. DAC加盟国以外の卒業国で支出実績を有するのは次の18カ国・地域：アラブ首長国連邦、イスラエル、オマーン、カタール、クウェート、クロアチア、サウジアラビア、シンガポール、セントクリストファー・ネイビス、トリニダード・トバゴ、[ニューカレドニア]、バーレーン、パナマ、バルバドス、[フランス領ポリネシア]、ブルネイ、[香港]、ルーマニア
 3. 2016年DAC指定レート: 1ドル=108.8027円(2015年比、12.1996円の円高)。
 4. 四捨五入の関係上、各形態の計が一致しないことがあります。
 5. 債務救済には、円借款の債務免除、付保商業債権および米穀の売渡し債権の債務削減を含み、債務繰延を含みません。
 6. 従来、国際機関を通じた贈与は「国際機関向け拠出・出資等」として計上してきましたが、2006年より拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めました。
 7. 技術協力に含めてきたNGO事業補助金については、2011年実績より各国の無償資金協力に含めることとします。
 ※ 技術協力に行政経費・開発啓発費を含みます。

日本の「貢献度」

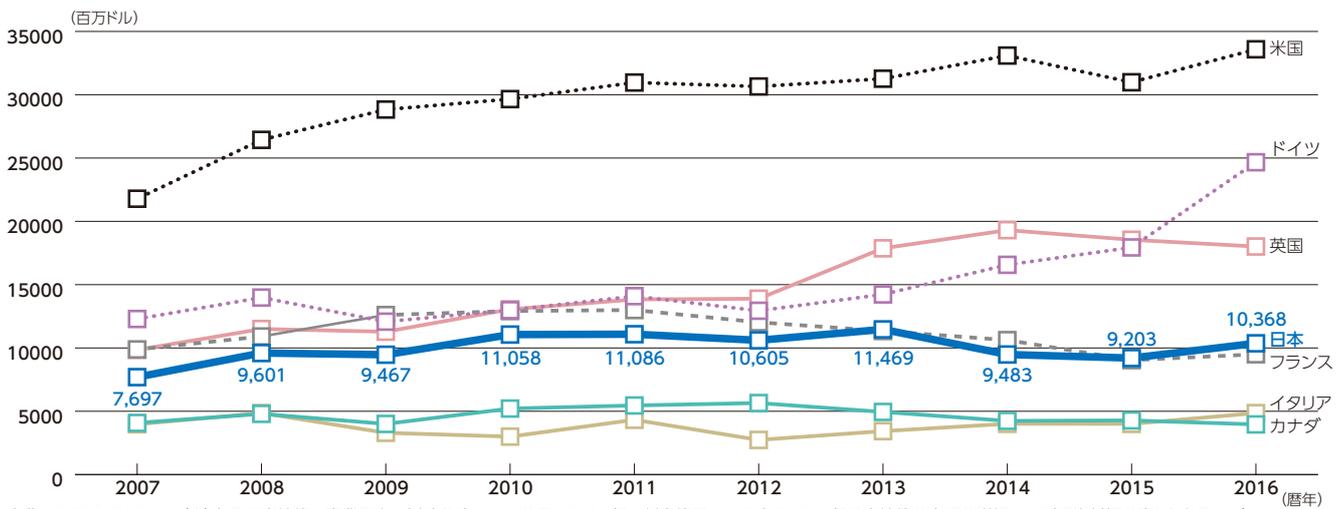
2016年の日本のODA(卒業国向け援助を含む)は、支出純額(ネットベース)で二国間援助が約70億1,609万ドル(約7,634億円)、国際機関に対する拠出・出資などが約33億1,533万ドル(約3,607億円)、ODA全体では対前年比12.7%増の約103億3,142万ドル(円ベースでは対前年比1.3%増の約1兆1,241億円)で、OECD DAC*加盟国では、米国、ドイツ、英国に続く第4位となっています。

1989年、日本のODA実績はそれまで1位だった米国を抜き、世界第1位となりました。そして1991年～2000年の10年間、日本はODA実績で世界第1位を維持し、DAC諸国をリードし続けてきました。2001年を境に、その後は欧米諸国のODAが増加するなかで停滞しています。

これを支出純額対GNI比でみると、日本は0.20%で、DAC加盟国29カ国中、20位という低い順位です。

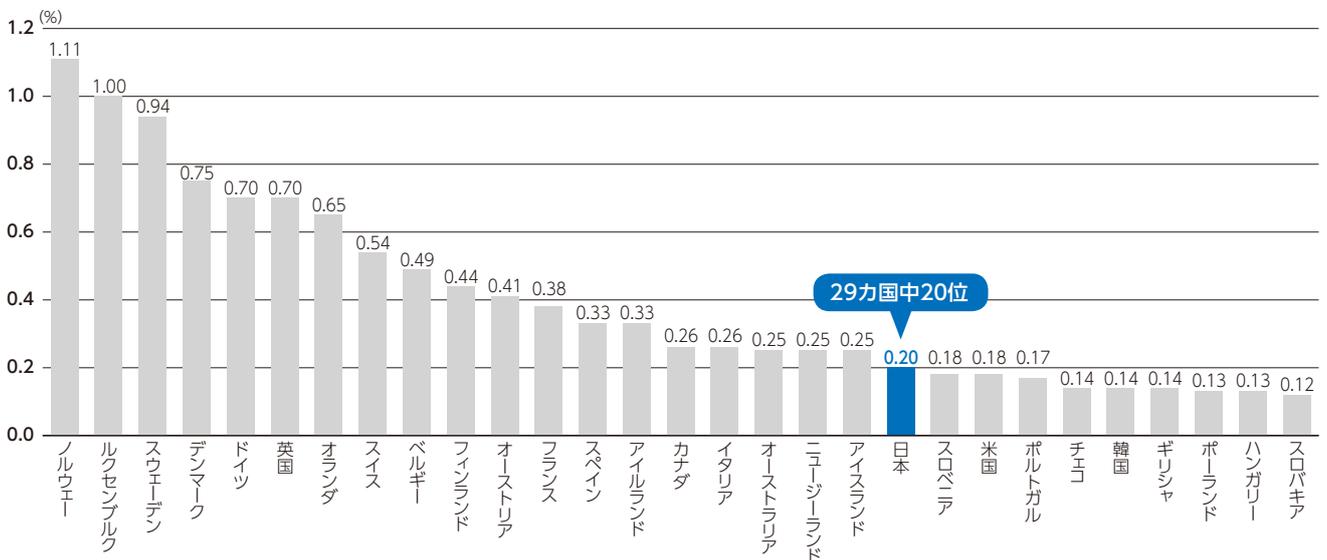
* OECD DAC: Organization for Economic Co-operation and Development, Development Assistance Committee : 経済協力開発機構・開発援助委員会

図表-3 主要援助国のODA実績の推移 (支出純額ベース)



出典：OECD DAC (注) 各国の実績値は卒業国向け援助を除いたもので、2016年は暫定値です。日本の2016年の実績値の内訳の詳細は、別冊資料編の表1を参照ください。

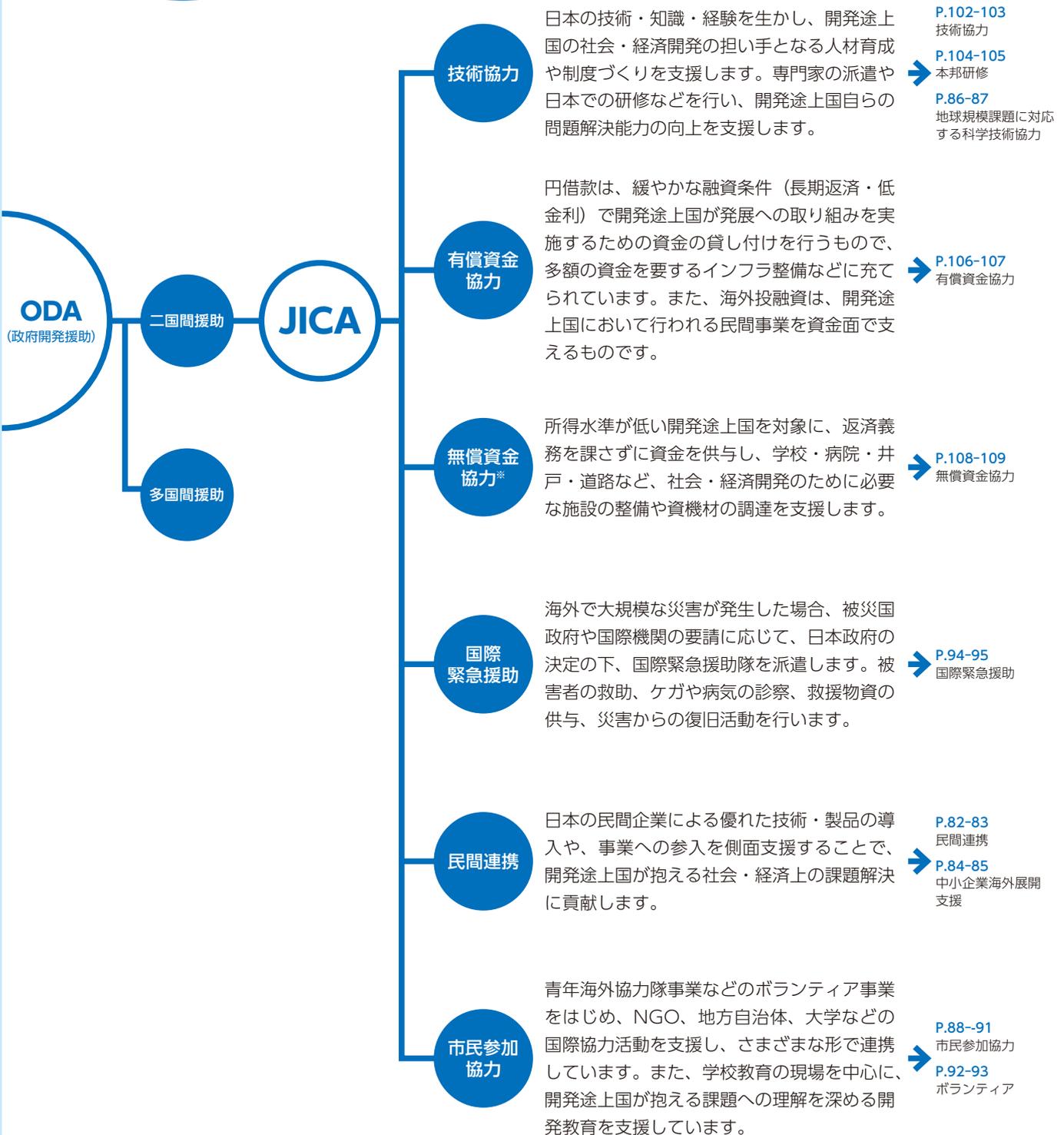
図表-4 支出純額対GNI比 (%) [2016年(暦年)、暫定値]



出典：外務省

日本の ODAを担う JICA

JICAは日本の二国間援助の中核を担う世界有数の開発援助機関です。技術協力、有償資金協力、無償資金協力*を中心としたさまざまな支援メニューを効果的に活用し、開発途上国が抱える課題解決を支援するため、世界の150以上の国と地域で事業を展開しています。



* 外交政策の遂行上の必要から外務省が実施するものを除く。